

第6学年 国語科学習指導案

児童 6年3組 男子18名 女子12名 計30名
指導者 高橋 晃子

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
教材名 「平和のとりでを築く」(説明文)

2 児童と単元について

(1) 児童について

この学級の児童は、1学期に、説明文教材「生き物はつながりの中に」を学習した。その学習は、自分が生き物として生きることや、筆者の考えに対して自分の考えをもつことをねらいとしたものだった。筆者の主張を読み取るために、文章構成を考えたり、筆者の意図に沿って要約したりし、自分の考えをもつために、自分の知識や経験から考えをまとめ、意見文にまとめるという学習を行った。

単元が終わってから行った事後テストや、NRTテストの結果から、文章構成をとらえたり、要約したりする知識や技能は向上したものの、全員が身につけているとは言いがたく、問題提起の文も見つけられない児童もいた。また、「生き物はつながりの中に」の学習の様子を見たり、児童が書いた意見文を読んだりすると、自分の知識や経験から考えをもつということに抵抗を示し、何を考えればいいのかわからないという児童が多く見られた。これは、明確な答えを求めることに慣れていた児童が、自分の考えに自信がないことと、自分の知識や経験が乏しいことが考えられる。したがって、それに対応する手立てが必要だと考える。

(2) 単元と教材について

本単元「筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう」は、筆者の考え(要旨)をとらえ、平和や戦争について自分の考えをもち、その考えを伝えることをねらいとしている。

教材文「平和のとりでを築く」は、おそろしい原爆の被害を象徴する原爆ドームの、建造から世界遺産として指定されるまでの流れを紹介することを通して、「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」という主張を読者に投げかけている。

全文は、13段落で構成されており、大きくは「原爆ドームに対する筆者(わたし)の思い」「原爆ドームがたどった歴史」「世界遺産への道のり」「まとめ」という4つのまとまりからなっている。冒頭の段落で「わたし」という語り手として、原爆ドームへの思いを語った後、原爆ドームのたどってきた歴史を時間の流れに沿って説明する。そして再び「わたし」の立場から原爆ドームが世界遺産であることの意義について語り、まとめるという構成の工夫がみられる。また原爆ドームの叙述が「建造物」「世界遺産」「記念碑」「世界の遺産」などと変化していき、読者に原爆ドームの存在価値を、読み進めるにしたがって認識させるような工夫もとられている。それらの工夫は筆者の立場を明確にし、原爆ドームが「世界の遺産」であることを読者に強く訴えかけてくる。

筆者の主張が明確に述べられているので、「平和」「戦争」という今日的な重要な問題に対して、児童が、自分の考えをもつことのできる価値ある教材と考える。これまでの説明文の学習で身に付けてきた力を生かしながら、筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをもたせる学習を行っていきたい。

(3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法

【筆者の主張を読み取る力】

事実の段落と意見の段落を区別し、文章構成を考える。

- ・主語
- ・文末表現

筆者の主張を読み取るためには、それがどの部分に書かれているのかということをつかまなければならない。そこで、まず文章の構成を考えさせる。その場合、段落毎に事実を述べているのか、筆者の意見を述べているのかを、主語や文末表現、述べている内容などから判断させる。さらに、筆者の意見を述べている段落が、はじめとおわりにあることから、はじめ・中・おわりの大まかな文章構成をとらえさせる。文章構成に着目して考えれば、筆者の主張がとらえやすくなることを確認したい。

筆者の意図に沿って要約し、その意味を考える。(要旨的要約)

- ・文末表現による主張の確認
- ・叙述の変化
- ・題名

今回行う要約は、要旨を捉え、筆者の考えを要約する「要旨的要約」とする。そこで、要約の際には、主張の段落のみを取り上げる。段落の中の主張を捉える際には、「である」「なのだ」という文末表現に着目させ、筆者の一番伝えたいことを述べている文をとらえさせる。その上で、段落と段落の中心文の関わりに気を付けさせながら要約文を考えさせる。

さらに、筆者の思いが、原爆ドームに対する叙述の変化や、原爆ドームの保存を願う人々の広がりといった述べ方の工夫、ユネスコ憲章の引用、題名と最終段落の文の呼応といったことにも表れていることに気づかせ、その思いの高まりを読み取らせたい。

そして、筆者の伝えたいことが「平和のとりでを築く」という題名に表されていることから、その言葉の意味について話し合うことを通して筆者の思いを読み取らせたい。

【筆者の主張に関連させて自分の考えをもつ力】

筆者が考えを説明するために挙げていることを詳しく読み取り、それに対する自分の考えをまとめる。

筆者は、伝えたいことを説明するために、中の部分で原爆ドームがたどった歴史と世界遺産になるまでの道のりについて述べている。それぞれについて詳しく読み取る活動を取り入れ、自分が感じたことや考えたことを書きまとめる。そうすることで、自分の意見の蓄積ができ、まとめの意見文を書く場合に生かすことができると思う。

また、友達と考えを交流し合う活動を取り入れる。これは、説明文の前単元の学習で、書かれていることを自分のこととしてとらえることが難しく、意見も浅いままの児童が見られたためである。友達との交流を行うことで、経験や知識の乏しい児童にも意見をもつためのより多くの材料をもたせたいと考える。

さらに、平和や戦争、原爆、世界遺産等の本教材文に関わる本との並行読書を行うことで、自分の考えを深めたり、高めたりすることの一助としたい。

これらの活動を行うことで、自分の考えも深まり、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる活動につながると考える。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	教材文を通して平和について考えを深めようとする。	・教材文を読んで、筆者の主張に対する自分の考えを深めようとしている。
読む能力	文章の構成や表現から要旨をとらえることができる。読むこと イ	・文章の構成や表現から要旨をとらえている。

	筆者の主張について自分の考えをもつことができる。読むこと エ	・筆者の主張をとらえ、自分の考えをまとめている。
言語についての知識・理解・技能	段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解することができる。 言語事項 オ(ア)	・段落と文章全体との関係をとらえ、自分の考えを主張するための文章の構成を理解している。

4 単元の指導計画と評価規準

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解
見 通 す	1	単元名、リード文から単元全体の学習のめあてをとらえ、筆者の意見に対して自分の考えを意見文としてまとめることを知る。		単元のねらいについて理解し、単元の見通しをとらえている。 (発言・ノート)	
	2	全文を通読し、大体的内容をつかみ、初発の感想を書く。 難意語を調べる。	教材文を進んで読み、感想を書こうとしている。 (ノート)		
	3	読みの方法を検討し、学習の計画をつかむ。	今までの学習を振り返り、今後の学習の仕方に生かせそうな方法を考えようとしている。(発言)		
深 め る	4	各段落が、意見・事実が書かれているかを考え、大まかな構成をつかむ。		事実の段落か意見の段落かを考えて文章構成をつかんでいる。(発言・ノート)	段落の役割を理解して、文章構成を考えている。 (発言・ノート)
	5	人々の原爆ドームに対する思いを読み取り、自分の考えをまとめる。	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えをもとうとしている。 (発言・ノート)	原爆ドームの保存に対する人々の思いを読み取り、永久保存されることに対して自分の考えをもっている。 (発言・ノート)	
	6 本 時	原爆ドームの世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、自分の考えをまとめる。		原爆ドームが世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、選ばれたことに対して自分の考えをもっている。 (発言・ノート)	

	7	筆者の主張をとらえ要約する。	筆者の主張をふまえながら、要約文を書くようにしている。 (ノート)	文末表現や叙述の変化から筆者の主張をとらえ、要約文を書いている。 (ノート)	
	8	題名に込められた筆者の思いを読み取る。		題名に込められた筆者の思いを読み取っている。 (発言・ノート)	
ま と め る	9	筆者の主張に対する意見文を書く。	筆者の主張に対する自分の考えをもち、書き表そうとしている。 (ノート)	筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。 (ノート)	

5 本時の指導 (6 / 9)

(1) 本時の目標

世界遺産登録に至るまでの「わたし」の思いを読み取り、原爆ドームが世界遺産に選ばれたことに対し、自分の考えをもつことができる。

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

具体的評価規準 観点	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手だて
国語への関心・意欲・態度	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えを深めようとしている。	原爆ドームがたどった歴史や世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えをもとうとしている。	板書や友達の意見を参考にし、考えをもつように働きかける。
読む能力	原爆ドームが世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、選ばれたことに対してより深く自分の考えをもつことができる。 例) わたしも、原爆ドームが世界遺産に選ばれて良かったと思います。原爆ドームを見に来た人が戦争の悲惨さを感じて、二度と戦争をしてはいけない、世界中が平和になってほしいと、強く思ってくれと思います。そして、その思いが世界中に広がってほしいです。原爆ドームは、世界の人々が平和を求める気持ちの象徴だと思います。	原爆ドームが世界遺産登録に至るまでの筆者の思いを読み取り、選ばれたことに対して自分の考えをもつことができる。 例) わたしも、原爆ドームが世界遺産に選ばれて良かったと思います。原爆ドームを残すということは、戦争の悲惨さを忘れないようにさせることにつながると思うからです。	板書やグループでの話し合いの内容をヒントに考えるよう支援する。

	をノートに書きましょう。	ようにさせる。 原爆ドームが世界遺産に登録されるまでの道のりについて興味をもち、自分の考えをもとうとしている。(発言・ノート) 筆者の思いを読み取り、原爆ドームが世界遺産に選ばれたことについて自分の考えをまとめている。(発言・ノート) ・何人かに発表させ、友達の考えを知る。
まとめ 5分	6 まとめの音読をする。 7 本時の学習について振り返る。 8 次時の学習内容を知る。	・読み取ったことを振り返りながら、の段落を音読する。(指名読み) ・課題に対してのまとめを確認する。 ・次時は、筆者の主張をとらえ、要約することを確認する。

(4) 板書計画

